

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取り組みを進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」に則り、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、人材投資を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

(個別項目)

当社では、毎年春季の労使協議を通じて、社会経済情勢、自社の経営環境、従業員の成果・貢献等について、労使で相互に理解を深めながら、自社の評価報酬制度に則った適切な形で、賃金の引上げに取り組んでいます。

2022年4月には、グローバルで人事制度を統一し、新たな「等級制度」「評価制度」「報酬制度」を導入しました。成果に応じた報酬の原則に基づく、従業員の成果・貢献に応じた公正な分配に努めています。育児や介護等の目的で活用できる積立休暇の日数拡大、所属長の許可の下で最適な就業場所を選ぶことのできるWork from Anywhere制度の整備等も行っており、総合的な処遇改善や働きやすい環境づくりにも取り組んでいます。

人材投資については、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進、変革に向けたリーダーシップや育成を担う管理職のマネジメント力強化等に取り組めます。また、従業員一人ひとりのキャリア自律意識の醸成に向け、職場の上司・部下間および社外キャリアコンサルタントを活用した対話機会の拡充やキャリア研修を実施しています。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日

【2023年4月24日】

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/28574-05-08-osaka.pdf>】

以上

2023年5月1日

参天製薬株式会社

法人名

代表取締役社長兼 CEO 伊藤 毅

役職・氏名（代表権を有する者）